渡辺（小山）が初優勝

2位和光（宇都宮）、3位大谷（東京）

ゴルフ　県ミッドアマ

ゴルフの第9回県ミッドアマチュア選手権大会（県ゴルフ連盟、県ゴルフ連盟錬成会主催、下野新聞社など後援）は24日、栃木市の栃木ケ丘GC（6903ヤード、パー72）で行われ、渡辺幹根（小山）が2オーバー74で初優勝を飾った。

県内外から106選手が出場。曇り、微風の好コンディションの中、熱戦を展開した。渡辺は前半アウトをパープレーの36でターン。後半インは2ボギーの38でまとめた。1打差の3オーバー75に4人が並んだが、大会規定で2位に和光利一（宇都宮）、3位に大谷五一郎（東京）が入った。65歳以上が対象のベストシニア賞は5オーバー77で舟岡誠（那須塩原）に輝いた。

女子のミッドアマチュア選手権は11月11日、足利市の東松苑GCで行われる。

初優勝を飾った渡辺幹根（小山）＝栃木ケ丘GC

グリーン攻略し栄冠

○…大会の立ち上げから県ゴルフ連盟錬成会の一員として尽力した渡辺幹根（小山）が初優勝。「そのうち勝てるだろうと思っていたが、やっと勝てた」と白い歯を見せた。

各選手が速いグリーンに苦労する中、「硬めで自分に合っていた」と好感触を得ていた。スタートのアウト2番パー5でダブルボギーとしながらも手堅く2オーバーでまとめ、知事盃（一般男子）2勝、県社会人アマ3勝、県アマ1勝の実力を見せつけた。

8月に静岡・裾野CCで開催されたシニアツアーのファンケルクラシックでは芹沢大介プロらと同組で回り12オーバーで67位と奮闘。50歳の実力者は「将来は日本シニアオープンに出てみたい」と目を輝かせた。

〝怪物〟ホールに苦戦

○…選手の間で話題となったのは14番パー5（641ヤード）のやや打ち上げの距離のあるモンスターホール。県内外のトップアマが参加する大会にも関わらず、「第3打はスプーン（3W）でも届かない」などの嘆き節が漏れた。

飛ばし屋として知られる石井淳二（那須塩原）は「（第3打は）200ヤード残った」、県社会人アマ2勝の相馬義孝（同）も「211ヤード残った」とため息。優勝の渡辺幹根（小山）も160ヤードを残すなど、出場選手の中でバーディーは1人もいなかった。

同コースのメンバーで今年の知事盃シニアの部の覇者である片柳勇（小山）は「パー5ではこの辺ではトップクラス。後ろ（バックティー）からのバーディーは難しい」と解説した。

宇都宮・和光利一（1打及ばず2位）「この難しい設定の中での3オーバーは満足。来年は（2度目の）県シニアを目指したい」

【第9回県ミッドアマ選手権大会】
（6903ヤード、パー72）

＋2	①渡辺　幹根	（小　山）	74	（36、38）
＋3	②和光　利一	（宇都宮）	75	（37、38）
	③大谷五一郎	（東　京）	75	（37、38）
	④大嶋　潤	（栃　木）	75	（36、39）
	⑤相馬　義孝	（那須塩原）	75	（35、40）
＋4	⑥半田　裕一	（宇都宮）	76	（37、39）
＋5	⑦酒井　正裕	（那須塩原）	77	（39、38）
	⑧和泉　一夫	（足　利）	77	（39、38）
	⑨石川　浩己	（宇都宮）	77	（37、40）
	⑩横塚　大吾	（〃）	77	（37、40）
	⑪長江　健市	（〃）	77	（36、41）
	⑫舟岡　誠	（那須塩原）	77	（36、41）
＋6	⑬松岡　一裕	（宇都宮）	78	（39、39）
	⑬片柳　勇	（小　山）	78	（37、41）
	⑬添田　修司	（宇都宮）	78	（37、41）
	⑬橋本　芳之	（小　山）	78	（37、41）
＋7	⑰金沢　太竜	（宇都宮）	79	（42、37）
	⑰遠藤　岳志	（鹿　沼）	79	（40、39）
	⑰赤羽　弘光	（矢　板）	79	（39、40）
＋8	⑳早乙女剛史	（佐　野）	80	（41、39）
	⑳橋本　和男	（埼　玉）	80	（41、39）
	⑳小野崎　悟	（矢　板）	80	（40、40）
	⑳平野　邦広	（市　貝）	80	（40、40）
	⑳本沢　篤	（那須塩原）	80	（40、40）
	⑳船越　秀人	（上三川）	80	（39、41）
	⑳野口　政夫	（佐　野）	80	（39、41）
	⑳石井　淳二	（那須塩原）	80	（39、41）
	⑳井上　雄	（〃）	80	（38、42）
	⑳伊藤　政志	（大田原）	80	（38、42）
	⑳植木　俊宏	（小　山）	80	（37、43）
＋9	㉛大橋由紀夫	（日　光）	81	（43、38）
	㉛飯山　敏弘	（那珂川）	81	（42、39）
	㉛横須賀可典	（小　山）	81	（41、40）
	㉛柏木　豪	（日　光）	81	（41、40）
	㉛稲沢　宏之	（那須塩原）	81	（40、41）
	㉛古沢　章司	（壬　生）	81	（39、42）
	㉛相田喜久夫	（〃）	81	（39、42）
	㉛田所　靖浩	（佐　野）	81	（39、42）

※同スコア順位は大会規定による。

本県順位上げ32位

神奈川が逆転優勝

ゴルフ　都道府県アマ

第37回全国都道府県対抗アマチュアゴルフ選手権JA共済CUP（下野新聞社主催、日本ゴルフ協会、中国ゴルフ連盟、岡山県ゴルフ協会、岡山県、岡山市、玉野市、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、oniビジョン後援、JA共済連特別協賛、富士通、NEC協賛）は24日、岡山県玉野市の東児が丘マリンヒルズGC（6992ヤード、パー72）で最終ラウンドが行われ、3人のスコアで争う団体は、5位から出た神奈川が458で逆転し、9年ぶり5度目の優勝を飾った。

2位は兵庫、3位は鹿児島。初日40位の本県はトータル490で32位に順位を上げた。

個人の県勢は鈴木貴士が14オーバー158で54位タイ、後藤貴浩が159で62位タイ、池田卓は173で132位タイだった。

36歳の小原淳（神奈川）が通算1アンダーの143で初優勝。2位は田中悠太（石川）、3位は竹ノ上剛規（山口）で、前日首位の谷本伊知郎（香川）は5位だった。

大会は開催の目的だった競技の普及や技量の向上が果たされたことから、今年で幕を閉じる。

猶本、増矢が復帰

なでしこ　来月南ア戦

日本サッカー協会は24日、南アフリカとの国際親善試合（11月10日・ミクニワールドスタジアム北九州）に臨む女子日本代表「なでしこジャパン」にDF熊谷（リヨン）ら25人を選出した。今夏の女子ワールドカップ（W杯）で外れたMF猶本（フライブルク）FW増矢（INAC神戸）が復帰し、GK浅野（ちふれAS埼玉）は初招集。

2016年就任以降、アフリカ勢と2度目の対戦となる高倉監督は「個で力強さを発揮してくる。予測しないようなプレーへの対応力が問われる」とポイントを挙げた。

11月10日のパレード「祝賀御列の儀」と重ならないように、試合開始は午後3時から同0時45分に変更された。

女子日本代表は次の通り。

▽GK　池田咲紀子（浦和）山下杏也加（日テレ）浅野菜摘（ちふれAS埼玉）▽DF　熊谷紗希（リヨン）松原有沙（ノジマステラ神奈川相模原）三宅史織（INAC神戸）土光真代、清水梨紗、宮川麻都（以上日テレ）清家貴子、南萌華（以上浦和）▽MF　中島依美、杉田妃和（以上INAC神戸）猶本光（フライブルク）栗島朱里（浦和）籾木結花、長谷川唯、三浦成美、遠藤純（以上日テレ）▽FW　菅沢優衣香（浦和）岩渕真奈、増矢理花（以上INAC神戸）田中美南、小林里歌子、植木理子（以上日テレ）

日本28位に31位から浮上

FIFAランキング

国際サッカー連盟（FIFA）は24日、最新の世界ランキングを発表し、日本は31位から28位に順位を上げた。アジア勢最上位のイランは27位に下がり、韓国は39位、オーストラリアは44位。

1位ベルギー、2位フランス、3位ブラジル、4位イングランドは変わらず、ウルグアイがポルトガルと入れ替わって5位となった。

理事総辞職を提案の見通し

全日本テコンドー協会

強化方針を巡ってトップ選手との対立が続いている全日本テコンドー協会が28日に東京都内で開く臨時理事会で、理事の総辞職を提案する見通しであることが24日、分かった。

関係者によると、スポーツジャーナリストの二宮清純氏、弁護士の境田正樹氏、元柔道世界女王で日本オリンピック委員会（JOC）理事の山口香氏ら外部の有識者5人に、金原昇会長らの組織運営に対する検証や新たな理事の選任を依頼する方針。提案が受け入れられれば、新理事が選ばれた段階で現職理事は辞職することになる。ただし金原氏ら理事が再任される可能性もある。

全国V作新高か

必要とされる存在に

U18日本代表

11月9日から中国広東省で開催される「第2回BFA女子野球アジアカップ」で大会連覇を狙うU18日本代表のメンバーに、作新高女子硬式野球部の生井美桜捕手（18）＝161ヤード、67キロ、右投げ右打ち＝と関桃子二塁手（17）＝161

U18日本代表の一員としてアジア大会連
作新高女子硬式野球部の生井（左）と関＝

生井

指揮を執るのは福知山成美高（京都）の長野恵利子監督。9月下旬の選考会を経てメンバー20人が選出された。2年前に香港で開催された第1回大会では、作新高から遠藤佳菜子捕手、渡辺那奈外野手の2人が選ばれ、優勝に貢献した。

前回は代表チームでコーチを務めた同校の田代恭規監督は「国際舞台で多くを学び、成長してほしい」とエールを送った。

本年度上半期の中学・高校スポーツ全国大会優勝者と指導者をたたえる知事表彰が24日、県公館で行われ、女子硬式野球の全国高校選手権大会で初優勝した作新など4団体と15選手、指導者12人が表彰された。

福田富一知事は選手に盾、指導者に表彰状を授与。「県民にスポーツに対する機運を高める大きな弾みになった。3年後の栃木国体でも本県選手団の一人として日本一を目指してほしい」と激励した。

第27回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会で2種目を制した毛塚来美（栃木翔南高）は「素晴らしい賞をいただけてうれしい。これからも国内のみならず国際大会でも活躍することを目指して頑張りたい」と飛躍を誓った。

（鈴木久崇）

受賞者は次の通り。

【団体】▽水泳（競泳）陽南中▽相撲　若草中▽女子硬式野球　作新高▽ゲートボール　作新高

【個人】▽水泳（飛び木優斗（氏家中）▽馬術　広田大和（日新中）▽武術太極拳　毛塚来美（栃木翔南高）▽ボクシング　平塚駿之介（作新高）

【指導者】▽水泳（競（矢板中）▽レスリング　石崎智（さくら市少年レスリングクラブ）▽ボクシング　斎藤大胤（作新高）

距離別スケートきょう開幕

小平「明るい話題を」

スピードスケートの全日本距離別選手権は25日から青森県八戸市の新設屋内リンク、YSアリーナ八戸で行われ、年内のワールドカップ（W杯）代表が決まる。24日は昨年の平昌冬季五輪女子500メートル女王の小平奈緒（相沢病院）や女子1500メートル世界記録保持者の高木美帆（日体大助手）らが開幕戦へ調整した。

小平は30分ほど軽めに滑り、スタートの動作などを確認。地元の長野が台風19号で甚大な被害を受けた直後で「希望の見える、明るい話題を届けたい」と活躍を誓った。

高木美は新しいリンクに「例年とは違う、新たな刺激を受けている」と胸を高鳴らせた。

男子500メートルで昨季に日本勢初の33秒台をマークした新浜立也（高崎健康福祉大職）は「日本記録保持者としての自覚がある。思い切ってレースする」と自信を漂わせた。大会は3日間。

スピードスケートの全日本距離別選手権に向けた調整を終え、笑顔を見せる小平奈緒＝青森県八戸市

男女とも今市圧勝で制す

関東高校選抜ホッケー県予選

関東高校選抜ホッケー大会県予選は24日までに、日光市ホッケー場で決勝までを行い、男女ともに今市が優勝した。男子は決勝で今工に14－0、女子は鹿沼東に20－0と共に圧勝だった。

男女の今市は11月9、10の両日、群馬県で開催される関東選抜大会に出場する。

【男子】▽1回戦　今市24－0鹿沼東、今工4－0鹿沼▽3位決定戦　鹿沼1－0鹿沼東▽決勝

今市 14（6－0、2－0、4－0、2－0）0 今工

【女子】▽1回戦　鹿沼1－0今市▽決勝

今市 20（4－0、4－0、6－0、6－0）0 鹿沼

アイスホッケー　アジアリーグ

（24日・日本製紙アイスアリーナほか）

①釧路（クレインズ）4（1－1、3－1、0－0）2 ハルラ（韓国）（15）

▽得点者【ク】上野、池斉藤

①八戸（ハルラ1勝）4（0－1、1－1、3－0）2 ハルラ（韓国）（31）

▽得点者【東】山本、パ

サッカー　なでしこリ

（23日・フクダ電子

日テレ（36）2（1－0、1－1）1

東都大学野

（24

▽2回戦（立正大2勝

駒 大000 000 1

立正大110 010 1

（駒）福山、越賀、上

前田（立）渡部勝、倉田

立松由

▽勝　渡部勝5試合2勝

▽敗　福山5試合1敗

▽本塁打　荒原1号①田1号①（福山）

▽同（1勝1敗）

亜 大001 302 0

国学大000 302 1

（延長10回、10回から

ク）

（亜）青山、松本晴、内

健一草部（国）小川樹、

谷、井上、川上、田村一

古場

▽勝　田村2試合1勝

▽敗　松本健9試合3勝

▽本塁打　西脇1号③

川龍1号②（青山）川村

山）

▽同（中大2勝）

中 大000 210 0

東洋大130 000 0

（中）畠中、水谷、皆川

古賀（東）河北、大宮、

平岩、渡辺、八木橋―山

▽勝　水谷5試合2勝

▽敗　渡辺2試合1敗

▽本塁打　五十嵐1号②